一月二十七日 夕刊

日刊(但シ日曜祭日翌日休刊) 一ヶ月廿五錢 郵稅十五錢 一部二錢 廣告料一行四十錢 場所指定二十錢増 發行兼編輯印刷人 平谷政容 發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

常識講座

バンクロフト型と云ふのは近代女性の憧憬する男性型だ、ニヤケタ姿はもうとうに廢つてゐる、バンクロフト型の線の太い頑丈な粗野な決して美男ではないが威厭的な男型である

解散による既得權は
權利でなくて選擧民の義理
佐藤、鈴木両派の角づく中に ごたく〜の政友豫選會

石城郡政友部會に於ては既報の如く今二十七日午後一時から平町聚樂館に衆議選擧の公認候補豫選の爲め郡内常任幹事その他を會して詮衡の議を開いたが出席者は前代議士並に元代議士、前縣議現縣議及び會長、幹事長等を合せて百余名を算し會議に入る前既に黨員各自に抱く肚裡に尖鋭を示し前代議士佐藤庄太郎、鈴木辰三郎兩氏の派に解散選擧の既得權を相衡く中に第三區政友からの出馬を望む星派では御大星一氏が同町驛前甲陽館に一族郎黨を屯して意氣を一張り黨内の中立派では此の際一切の私情を排除して純然たる白紙に還るに如かず其れには解散選擧なるが故の再出權の如き當人に權利と思ふは大なる誤解であつて選擧民の義理から出でたる前例である以上これを爲すと爲さゞるとは其の時と場合に因るものであるから前代議士にいさぎよく讓歩を求め適當なる新人を推すべきであると語るもの等々會てないごたく〜を演じてゐた模樣では公認の決定容易でなしと觀られてゐた

第二冷害 對策補助工事
繰越は罷りならぬ
積雪と極寒にあはてる町村
石城の配當二萬八千圓

平土木監督所管下に於ける第二次凶作對策の補助工事は町村關係で箕輪永戸の三千四百圓を筆頭とし川前、下小川、澤渡、三坂、田人の同工事を合せて約二萬圓及び縣の直營にかゝるもの田人村地内で三千九百圓、箕輪地内で八千四百圓を配當され箕輪村大字大利地内の工事は毎日の作業人夫七十名の區域を今二十七日から着工したが日頃打續く降雪と極寒で工事着手が遅れ今回の補助工事は大藏省の第二次豫備金を支出するもの々爲めに絶對に操越ならずと云はれ年度内の完成に各町村では起工完成を焦つてゐると

入山の懇談會

石城郡湯本町の入山採炭自治會では去る二十四日午前十時同鑛自治會舘に於て選擧肅正に關する懇談會を催したが從業員二百五十名の出席を見る盛會であつた

三株勿來停車場線工事進捗する

石城郡三株勿來停車場線田人村南大平字邊渠地内外三ヶ所の縣道直營工事は近年珍らしい降雪と酷寒にめげず進工中であるが此程までに八六、八〇%の進捗を見たと

比佐昌平氏 立候補届
明廿八日の大安に

石城郡民政部會では衆議選擧の公認候補を比佐昌平前代議士に決したので目下夫々戰備中であるが同氏の立候補届は今二十七日の佛滅を忌み明二十八日の大安を撰んで届出る由である

選擧肅正强調に 祈願祭と旗行列
縣社子鍬倉神社に誓ふ町民
終つて町内を練る旗の波

平町では選擧肅正强調デーの今二十七日午前六時を期して未明の空に鞳く三發の煙火に其の氣を促し更に同九時縣社子鍬倉神社々前に行ふ祈願祭定刻には同じく數發の煙火と警鐘一打並に自動車ポンプのサイレンを一齊に響かせて肅正委員その他官民約二百名社頭に參列神職の修祓及び祝詞奏上終つて靑沼町長代理酒井助役左記祈願詞を奏上し一同玉串奉奠の後靑年學校を初め町内三ヶ小學校職員生徒約五千名が選擧肅正の小旗を手にして全町を練り大に一票報國の氣を强調した

祈願文

縣社子鍬倉神社の大前に平町選擧肅正委員會長平町長從五位勳五等靑沼鋒太郎、衆議院議員選擧有權者一同謹みて白す、正しき選擧は立憲政治の根幹にして百政の改新社會の淨化總て源を玆に發す、吾等の淸き貴き一票の行使は即ち、天皇政治を翼賛し奉る忠君愛國の大道なる所似を自覺し心を洗ひ節を守り天地神明に誓て潔く正く明るき政治の實現を期し吾等の聲明申合事項を實行し特に棄權防止に努め選擧肅正の目的達成を祈願し奉る

委員長 靑沼鋒太郎
平町有權者一同

肅選の祈願祭

石城郡神谷村では明二十八日午後一時から選擧肅正委員その他を同村小學校奉安庫前に整列來る衆議選擧に潔き一票を誓ふ祈願祭を行つた

舊正二日の 平驛乘降
昨年より一四八七人減

平町舊正月の初賣は朔來の降雪で人の出足を殺いだので平驛の乘降客に二割(前年當日に比し)減を豫想されたことは既報の如くであるが同日の驛の旅客は左記の如く前年より千四百八十七人を減じたるも翌三日の人出が昨年約五割を増加したので各商店の賣上げに於ては昨年より増加するとも劣らぬ模樣であると

二日の乘客四七七〇(五三三六)降客四四七四(五三九五)計九二四四(一〇七三一)以上

石城蠶業の 通常總會
來月二日平町で

石城郡蠶業組合に於ける第五回通常總會は來る二月二日午前十時から平町平陽女學校に於て開催されるが協議の事項は左記の如くである

九年度決算と事業報告 十一年經費收支豫算 組合費分賦方法 歲入現金並に基本金預入所指定一時借入に關する諸件

平土木監督所の 副所長決まる

平土木監督所では副所長大森留治氏が京都府土木課關係に榮轉した後久しく同席に欠員を見てゐたが今回富岡土木監督所から同所開設以來の在職者で副所長谷川留藏氏を後任に決し今二十七日同技手の着任を見た

平署で劍道の 階級試驗
來る二十六日

武德會福島支部の劍道階級試驗は來る二十六日午後一時平警察署演武場に於て縣の範士小川文笨氏出張執行されるが受驗者は六十一名で級試驗五名、初段二八名、二段一〇名三段一一名、四段七名である

奉公の前借 踏み倒し
十三の伜を種に

石城郡内鄕村の白水平子俊正は長男信一(一三)を昨年九月二十日湯本町周旋屋の手を經て東京字淺草區鳥越町一丁目石川保司方へ徵兵檢査の年期明けまで二百五十圓の約束で住込ませ五十圓の前借をなしてゐたが去る十日上京前記石川方を訪ねた俊正は家事の都合で信一を引取らねばならぬことになつた此の上は歸宅して前借金を支拂ふからと信一を連れ戻つたまゝ該金を支拂はぬ上に當人を他に奉公させてゐる模樣がある爲め今二十七日被害者から平署へ俊正の說諭方を願出た

正月の祝酒に 泥醉暴行

石城郡内鄕村の綴居住雜貨商鈴木藤兵衛(三一)は昨二十六日夜半頃舊正月の祝酒に泥醉し前後不覺となつて綴請願巡査駐在所に至り表硝子戸を叩きこはした上に室内の戸障子を破壞し且つ植木類を手當り次第に放り投げる亂暴を働き引捕ひられて本署に檢束醉ひのさめた今朝係官署員から散々油をしぼられて放還した

ルンペンも醉ふ て暴行する正月

石城郡好間村の下好間某雜貨商方に於て昨二十六日午後十二時頃近く耶麻郡一木村生れのルンペン高橋喜作(三六)は一杯氣嫌で暴れ込み同店の器物を破壞したので駐在巡査に取押へられ當夜本署に檢束の翌二十七日朝說諭されて釋放

本紙連載中の飯川生氏「本郡鹿島式社論」は未完なるも同氏の急稿に「室直與略歷」を寄せられたるを以て數日間本稿の掲載中、前稿を休載いたします

編輯部

天氣豫報

今晩は西北の風、晴
明日は南の風、晴(時々曇)
(小名濱測候所)

劍齊室直與略歷
丙子新正九十歳の自作詩を 偶然の辭世として

(1) 勿來生

まへがき(直與翁の訃報を急讀して)

昭和十一年一月二十四日は予が鄕土地方の正月元日に當るゆゑ、予は是の早朝、明治神宮に詣でゝ、兼ねては皇祖を首め奉り、草莽の臣なる拙家の祖靈をも敬拜、祈願して歸途、予の或る關係廳へ祇侯一時半歸宅するや、本日第一の賀狀を、遠く平より予の許二便到着の諸方新聞及び雜誌中より、鄕土の數種小新聞を披展した刹那、室直與翁が風邪にて、此の程加養、就床の所、昨二十三日午前零時頃に至り藥石効なく、俄に長逝云々の記事を一讀するに及び、予は愕然悲愁に打たれて、少時く茫然としたのである。噫思へば今月一日、翁は自筆に發し、猶ほ端末に自作の絶句を書き副へて贈られた。是れは豫にとりて、翁を偲ぶ最後の唯一の記念となつたわけである。次に其の文を示すと

謹賀新年
丙子元旦
人生難厄蝶過籬、更途光陰入老時、駭見雲車天上□、盛世勝軸自奇々
福島縣石城郡平町南町
室 直與九十歳

母ミチ子病氣の處療養不相叶八拾七歳の高齢を以て一月二十四日午前三時四分永眠致候間御通知に代へ此段謹告仕候

追て葬儀は舊歷正月を遠慮し來二月八日(舊正月十六日)午後一時三十分自宅出棺長橋町性源寺に於て佛式により執行可致候

昭和十一年一月二十七日

福島縣平町舊城跡

男 靑沼鋒太郎
孫 靑沼淡夫
市原卯太郎
親戚總代 神谷辰五郎

産業方面

竹林を荒す 病氣四ツ

3　北島農林省技師

而して一方竹の強さは五年生ぐらゐのものが一番よいとされてゐるから此の兩者の關係を熟知して伐採を行へばこの病害豫防は大部分果されることになる、

水枯れ病、これは一名貯水病とも云ひて春さき竹の葉が萎れて枯れてしまぬ其の當時までは竹の色は青色であるが五月頃になると節を中心として褐色の少し薄い色の縞が竹の表面に見られ各節に自然に水がたまる（

六、七月になると最も絶頂で水は節一ぱいにたまり重さも加はり色は褐色がかつた紫色になり遂に腐れてしまふ、病菌はヒゲ根に寄生するものであるが豫防法としては敵切のものがないからこの兆候を見た春さき竹の色があまり悪化しない際伐採して利用し根を堀り取つて處分する外はない、

朱病、京都地方ではシミ朱病と云つてゐる、主として土際の節または其れから上部に楔形の黒い班紋のつくのが特長で此の部分は竹の組織が腐るから桶の輪も場合によく折れるものであるからシミ竹として嫌はれ値段も安いからして被害部分を除いて磨きをかけて花筒にするなどはうまい利用方法であると思ふ、

病菌はサビ菌に近いもので敷藁を多く施し濕氣を多くすると侵され易いからこれ等のことに注意する外に適當な對策は目下の處ない完

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社
特約販賣
屋問油　關内油店　電話長16　平城磐
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

お醤油は……ヤマフル
醤油味噌　たひら正宗　鰹節食料品
鹽屋　山崎合名會社
明治生命磐城代理店　山崎與三郎　電話　營業部一〇番　本店二七番

御贈答用好適品豊富
實用向特選品を各種陳列
商品切手……一圓より照製
ツルヤ　平町四丁目

寒中御見舞
石城郡平町　蓮沼龍輔

洋服は高島屋
注文並に既製品
冬物▽入荷▽
高島屋洋服店　平町二丁目　電話三八六

入院應需　明雲堂眼科醫院　平驛前　電六六九番
●自炊の便あり●

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントケン科
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
中野齒科醫院　平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

債券公債両替金融
多田井質店　平町大工町　電話五九一番

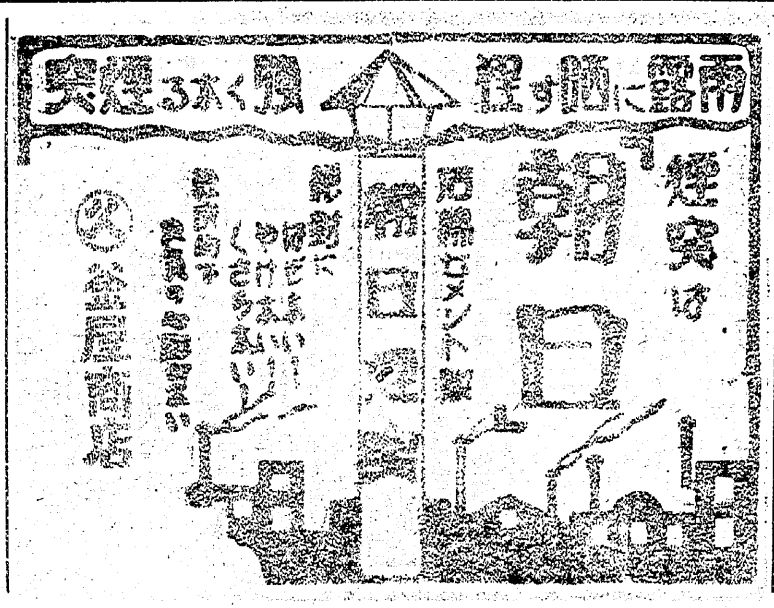
耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

好評嘖々　たる各種優秀藥
大衆酵母劑　カクレー（三十三日分　定價一四十錢）
強力驅毒劑　スピロイン（定價二円　五圓　十圓）
特約販賣店　山野邊藥局　平町五丁目角

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）西村屋藥舗（電3）

食事、喫茶、酒場を兼ねた
冬のサロン
暖房設備が出來ました
暖かいミルク（牛乳）十錢
御飲物リプトン紅茶　十錢
お菓子　十五錢
御家庭の延長として是非御利用下さいませ
平・田町・電352

雨露に晒す程　強く太る煙突
煙突は朝日
日本ゼメント製
朝日煙突
御對にはどまいいやけまいいしさうまいいし
金屋商店

便利で經濟な日下家政婦會の
●派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平町字田町十八番地（西村屋横町）
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話（呼）一八九番